

## 藤村大使 館長挨拶

初めまして。このたびキューバに着任した藤村です。私は外務省で長く中南米との仕事をしてきました。今般、キューバで任務に就くことを大変にうれしく思っています。

日本とキューバの間には、17世紀の支倉常長の時代に遡る長い歴史があります。もっと時間を今日に引き寄せれば、昨年は日本人キューバ移住120周年でした。そして今年2019年は外交関係樹立90周年に当たります。

両国の関係は、2016年の安倍総理大臣によるキューバ訪問以来、大いに進展しています。それは、政治、経済・ビジネス、経済技術協力、文化、スポーツ、学術、国際的課題への取組など、多くの分野に亘っています。近年、日本からキューバへの訪問者は年間約2万人を数えており、この国に思いを寄せる方々の広がりには、私自身、認識を新たにしています。一方、キューバにおける日本への関心も、経済、先端技術、伝統文化から、今日的なマンガ・アニメや映画を含め様々な面で高まっています。日系社会の役割もとても大切です。

私は、日本とキューバの間で、その時々課題に適切に取り組むと共に、長い目で見て両国の交流を中長期的に進展させて行くことが大切だと考えています。

そのために、皆さんがキューバで安全で快適に過ごし、そして日・キューバ関係が一層発展するよう、私は皆さんの声を伺いながら共に進んでいきます。

日本大使館は皆さんに開かれています。  
どうぞ宜しくお願い致します。

2019年1月25日

駐キューバ大使 藤村和広（ふじむら・かずひろ）